

# 議会だより 遠野

No. 73

令和5年4月

〔発行〕

遠野市議会



Facebook



マチイロ



3月定例会

## 主な内容

- ◆ 3月定例会の概要 P2
- ◆ 令和5年度当初予算注目事業 P3
- ◆ 予算等審査特別委員会 P4
- ◆ 一般質問 12人市政を問う P7
- ◆ 学んで行動する議会へ P19

## 上郷町第1回ボッチャ大会

16チームが参加し、2月、3月に120試合を開催。  
冬場の運動不足解消と懇親を図りました。

ボッチャとは、3人一組みで、ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競う。



# 未来のための投資

持続可能なまちを目指して

一般会計の予算 **189億5000万円** (前年度比で18億4000万円の増額)

## 👉 議会が注目した3つの新規事業

### 注目① 空き家等リノベーション推進事業費 2億500万円

再生可能な建物をリノベーション（新たに価値を加える改装）することで、移住者や技能実習生などへの住環境整備、宿泊や飲食店、シェア事務所など新たな活用へ。  
財団法人を設立して、人が行き交う潤いのあるまちづくりに挑戦する。

空き家、空き店舗は、地域の財産。利活用したい方とのマッチングが大切。ソフト事業の取り組み強化を。



議員の思い

### 注目② DMOで新たな観光まちづくり事業費 1,465万円

新たな観光推進体制（DMO）による持続可能な観光まちづくりに取り組む。  
※ DMO（観光地域づくり法人）とは地域の「稼ぐ力」を引き出すため「観光地経営」の視点に立った舵取り役として、多様な関係者が協働しながら地域でお金が回る戦略を実施する法人のこと。観光入込客数や宿泊客数、消費額の目標達成に向け、ニーズの把握やイベントの見直し、観光スポットの開発が期待される。

観光に関係する多くの住民や関係者が係わっていくことが必要。プロモーションの見直しも。



議員の思い

### 注目③ 安心子育て・ママの里推進事業費 459万円

- ① ウィメンズチャイルドクリニック構想（市民の健康を守る産婦人科・小児科のかかりつけ医）
  - ② 産前産後ケア
  - ③ 女性と子どもの健康への寄り添い
  - ④ 安心の地域医療
- この4つの視点を一体的に検討し、将来のニーズに対応する環境を作る。

生涯を通じた健康を守る取り組みが重要。こころの悩みを含め、気軽に相談できる体制の充実も。



議員の思い



# 3月定例会

令和5年3月定例会を、2月21日から3月10日までの18日間の会期で開催し、一般質問は12人の議員が市政を問いました。  
市が提出した案件は、全32議案で、令和5年度一般会計予算を含む予算15件、条例12件、その他5件を審議し、すべて原案のとおり可決・承認しました。  
また、最終日の本会議では、人権擁護委員の任期満了に伴う人事案件5件及び議員発議による条例2件を同意・可決しました。

人権擁護委員  
多田 功一氏  
白石 健也氏  
菊池 秀男氏  
宮島 慶子氏  
荒川 泰子氏

## 議員発議

◆発議案第1号  
今定例会では、議員発議案（条例2件）が提出され、可決しました。

◆発議案第1号  
遠野市議会の個人情報保護の保護に関する条例の制定について

法律改正に伴い、議会において個人情報保護に関する制度について新たに条例を制定する必要のあるもの。

◆発議案第2号  
遠野市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議員の調査研究の基盤強化のため、政務活動費の額を月額1万円にするもの。

## 3月臨時会

一般会計補正予算第11号を可決しました。

### 補正予算の主な事業

- ・ 配合飼料価格高騰等に係る畜産振興緊急対策に係る予算
- ・ スクールバス車内置き去り防止対策に係る予算

## YouTube 配信開始

定例会及び臨時会のYouTube配信をしています。定例会及び臨時会終了後、2週間ほど動画を掲載します。下記アドレスもしくはQRコードからアクセスしてください。



<https://www.youtube.com/@user-re4he9dj9b>



# 予算等審査 特別委員会



予算等審査特別委員会（議長を除く16人の議員で構成、委員長佐々木恵美子議員、副委員長昆明美議員）は、予算15件、条例12件、その他5件について付託を受け、審査を行いました。

今委員会では、今後の施策全般にわたり活発な質疑を交わしました。その結果、全議案を原案のとおり可決しました。

## 個人情報提供なし 敬老会の開催は

**問** 個人情報保護法の改正に伴い、令和5年度から個人情報提供できる範囲が厳格化される。各地区センターに個人情報提供できないとのことだが、今後の敬老会の開催方法は。

**答** 高齢者の名簿の提供はできないので、小さな拠点を中心として、名簿づくり、手挙げ方式等知恵を出し合いながら対応していただきたい。

## これからどうなる ふるさと村と水光園

**問** 現在のふるさと村と水光園の経営状況は。

**答** ふるさと公社が目指したものはふるさと村と水光園のそれぞれの収支改善であった。両施設はこれまでの3年間で赤字転換は難しいが、赤字幅は圧縮されてきている。

**問** ふるさと商社が引き続きだあとのビジョンは。

**答** 今後、根本的な収支改善をはかるために地元の方々の協力をいただきながら、観光客をどう呼び込むか戦略が必要になる。

**問** ふるさと村は教育旅行誘致、水光園は再生可能エネルギーのシンボル施設として特徴づけを行うなど、市も関係団体と連携して積極的に支援し、ふるさと

**問** 敬老会は、次世代交流、元氣確認、生きがいにつながると思うが市としての考えは。

**答** これまでの地域、各町での敬老会は、その地域独自で、特色ある工夫を重ねて開催してきた。

**問** 開催にあたっての困りごと、問題等に対し、相談や支援を行っていく。

## これから農業を 始める人を応援

**問** 新規就農を増やすための取り組みは。

**答** 商社への一元化を進めて観光振興をはかっている。

## 増える市税 東工業団地の影響は

**問** 市税が増額になっている根拠は。

**答** 給与所得が令和4年度回復してきており、さらに令和5年度はより一層所得が増え、税収が回復すると見込んでいる。

**問** 東工業団地に会社が集積することにより市税、法人税、固定資産税の増額が見込まれるか。

**答** 東工業団地に集積が進むと償却資産の投資も増えると思われる。さらに従業員が市内居住者であれば所得割も伸びていくと推測している。

**問** 遠野市内の既存事業所の法人税に対する見込みをどのように捉えるか。

**答** コロナ以前に近い伸びになると考えている。

**問** 遠野ならではの魅力としてポップ・ワッパがあり、集中的にPRしながら進めていきたい。

**答** 令和5年度の新規就農に向けて、稲作や肉用牛、露地野菜に取り組みたいという相談を受けており確実に支援したい。

**問** 新規就農へのアドバイス体制は。



遠野の美味しい根わさび

## 情報技術で 便利な生活に

**問** 住民票の写しなど、コンビニ交付サービスが導入されるが、地区センターにも導入しては。

**答** 専用の端末が必要であり、多額の費用が必要になる。効率性、合理性、安全性などを考慮し、よりよい方向を考えていく。

**問** 購入するドローンの活用は。

**答** 空撮ドローン1機を購入する。また操作できる職員を3名育成し、防災面等で活用したい。

**問** 一人暮らしの高齢者など、マイナンバーカードの申請に行けない方への対応を。

**答** 市役所等での受付、地区センターや新設型コロナウイルスワークセンター接合会場での出張申請サポートに取り組んできた。

発展支援として、機械や牛の導入経費について支援ができる制度もある。いろいろな角度からサポートして、新規就農の支援をしていきたい。

## 国保税 引き上げ、なぜ

**問** なぜこの時期の引き上げか。軽減策はなかったか。

**答** 国保税は3年に一

り組んでいかなければならない。

## 農地問題を解決する 「未来の設計図」

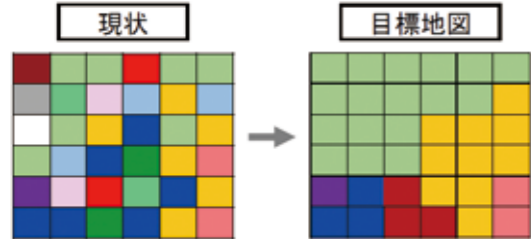
**問** これまでの※1地域農業マスタープランとの違いは何か。

**答** これまで※2実質化されてきた本市の地域農業マスタープランに対し、令和5年度から令和6年度末までに具体的に※3目標地図を作成することが法律で定められたことに併せて中心経営体を位置付けすることになる。

**問** 目標地図を作るために。

**答** 一人暮らしの高齢者など、マイナンバーカードの申請に行けない方への対応を。

**問** 市役所等での受付、地区センターや新設型コロナウイルスワークセンター接合会場での出張申請サポートに取り組んできた。



農林水産省経営局 資料より



ポンプ操法訓練をする消防団

## 消防団 年額報酬アップ

**問** 消防団報酬額の改正理由とその内容は。

**答** 災害が多発化・激甚化する昨今、消防団の役割も多様化している。消防団員数の減少により、消防団員一人一人の負担が大きい。総務省消防庁通達に合わせ、消防団員の処遇

めの具体的な方法は。

**答** 農地利用集積アドバイザー、農業委員、農地中間管理機構駐在員との連携により、まずは現状の把握から集落単位で進めていく予定になっている。

**問** 集落への周知及び取り組み方法は。

**答** 農協、関係団体含め、実践にあたっての意識統一を図りながら地域全体に周知して進めていきたい。

**※1** 地域農業マスタープラン

地域の高齢化や農業の担い手不足が懸念される中、5年後、10年後までに、誰がどのように農地を使って農業を進めていくのか、地域の話し合いに基づき取りまとめるプランで、地域農業の担い手を「中心となる経営体」と呼び、農地の集積計画や利用図を作成し、地域における将来的な農地利用の「設計図」を描いていくもの。

**※2** 実質化

対象地区内の過半の農地が、近い将来の農地の出し手と受け手（中心経営体）が特定されていること。

## 期待される ふるさと納税

**問** ふるさと納税は年々増加しているが、返礼品は物だけでなく他に遠野の魅力を発信できるものがあるか。

**答** 返礼品は「物消費」だけでなく、観光体験などの「コト消費」をもっと増やしていきたい。

**問** 今後の増収対策はどういうものか。

**答** 既存の返礼品をブラッシュアップするような特産品化の伴走型支援を進め、また遠野の取り組みを伝え、リピーターの確保を図りたい。

## 安心して子育てできる 医療体制に向けて

**問** 新規事業「安心子育て・ママの里推進事





千田 由美子 議員

一問一答方式



その他の質問

- コミュニティスクールの本格実施について

**問**………  
市が目的としていた「小さな拠点」と現状は一致しているか。

**答(市長)**………  
当市は地区センターという特徴を生かしながら、小さな拠点による地域づくりという方針をとってきたと理解している。課題が見えてきた時期でもあるので、みんなで解決し、努力をする時期と捉えている。

**問**………  
「小さな拠点」による地域づくりの今後の方向性は。

**答(市長)**………  
一緒にまず努力する。今後は、話をしながら取り組み、意見をいただければ生かしていきたい。



小さな拠点イメージ図 (国土交通省)

## 適正規模に満たない小学校の統廃合の検討を

**教育長** 現時点では計画はない。少子化の状況を注視し、保護者や地域の声を大切にする

**問**………  
少人数学級における現状と課題はどのような点に捉えているか。

**答(教育長)**………  
小学校11校のうち、6校が複式学級を有しており、約54%の小学校で複式による指導をしている。複式学級や少人数学級における授業は各小学校で工夫した取り組みが行われているが、今後さまざまな課題へ対応していく。

**問**………  
保護者の不安を取り除くため、保護者や地域との意見交換会など行うべきでは。

**答(教育長)**………  
今年度からコミュニティスクールの取り組みが進められており、学校運営協議会や、学校部会等で、保護者や地域の方々の意見を直接伺う機会を増やしていきたい。



小学校の適正規模へ向けての取り組みは(※写真はイメージ)

**問**………  
統廃合の計画時期を検討するべきでは。

**答(教育長)**………  
遠野市総合計画後期基本計画に記載されたとおり、地域との関わりをもって教育課程を進めることを重視し、当面は現在の小学校11校を維持する。

## 『小さな拠点』による地域づくりの現状と今後の方向性は

**市長** 課題が見えてきた。皆で解決するように努力をしていく



検討委員会(わらすっこ支援委員会ワーキング)の様子

**業の内容は。**  
**答** 近隣市町村の人口動向などを見ながら、クリニックの医療需要調査や産婦人科小児科クリニックの事業計画、運営プランなどの構想の検討資料として、安心子育てママの里推進プラン作成業務の委託や医師招致活動などを行うもの。

**問** 検討委員会では

**意見は。**  
**答** 24時間体制の大きな病院で出産する方が安心であるため、出産は中央に集約する時代。  
自治体の役割は産前産後のケアである等の意見が出された。こういう意見や調査を踏まえ、構想を組み立てて行く。

### 空き家の有効活用で地域活性化へ

**問** 財団を設立する理由は。

**答** 市内にある空き家、空き店舗、空きスペースを有効活用し、地域内の循環型経済活動につなげることで、中心市街地の活性化に直結すると判断した。

**問** 遠野市全体の活性化に結び付くものか。

**答** 市内全域を対象にしているので、地域の再生につながる可能性があると考えている。

**問** 事業の進め方は。

**答** 市民ファーストでより多くの声を聴きながら進めて行きたいと考えている。

**問** 空き家を利活用したい人へのPR方法は。

**答** ※リノベーションした物件を活用してもらうための戦略、宣伝など、ソフト事業が必要だと考えている。

**※リノベーション**  
建物を改装し、新しい価値を加えること

### 新たな観光まちづくりがはじまる

**問** DMOで観光まちづくりを行うとしているが、その事業の内容は。

**答** 観光誘致であり、そこで生まれたお金を市内に循環させる仕組みを作る場所がDMOである。この仕組みづくりについては、現在、観光協会、ふるさと商社など9団体で協議を重ねている。

**問** 市民が関わる機会はあるのか。

**答** 今まで遠野の観光を支えてきたのは多くの市民であり、市民の声を活かしていくために、機会をとらえ現場に入り対話を重ねていきたい。

**遠野遺産 認定したあとは**

**問** 遠野遺産認定後の状況は。

**答** 遠野遺産の認定数は現在169件で、認定後の保存活用について



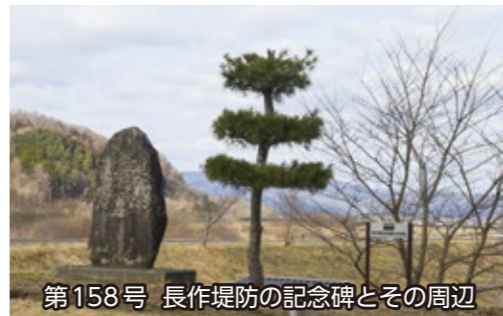
第168号 宝領神社



第8号 宇迦神社拜殿及び旧跡一里塚石碑

では、各地区センターに交付されている300万円事業の中で、修理などが出来る仕組みになっている。認定取り消しは行っていない。

**問** 遠野遺産の維持管理のための支援や助言は。



第158号 長作堤防の記念碑とその周辺

大切な地域の宝である遠野遺産

**答** 認定件数も多くなつており、維持管理は課題と捉えている。地域からの声を重視し、活用の仕方や修繕の仕方に対する新たな補助については、今後、協議しながら検討していきたい。







菊池 美之 議員



一問一答方式

**問**……………  
日本農業クラブ全国大会において、最優秀賞を受賞した遠野緑峰高校の工ゴマ麵普及、展開の考えは。

**答(市長)**……………  
全国大会二度目の最優秀賞受賞にとっても感動した。彼らの将来のために、本市にとっても素晴らしいこと。今後もチャレンジして欲しいし、それを応援していきたい。

**問**……………  
ICT(情報通信技術)を活用した市内産直の回避策の考えは。

**答(市長)**……………  
市内産直には特徴的なものがたくさんある。それをあらゆる方法で発信するICTはとても重要である。観光全体の中での産直という



六次産業の概略図です。緑峰高校では工ゴマでこの取り組みを実践し、全国大会で発表しました。

## 六次産業の活性化の取り組みは

**市長** 様々な見地から皆さんの取り組みを応援していく

位置付で、紹介の仕方に力を入れていきます。



佐々木 敦緒 議員



一問一答方式

## 小さな拠点の目指す姿は

**市長** 自主性のないところに成功はない

**問**……………  
未だ小さな拠点はなにをするのとの声がある、総会は全員参加型としては。

**答(市長)**……………  
良い考えと思う。地域の規約で出来る。

**答(市長)**……………  
団体職員である。

**問**……………  
地区センターに世帯表が配備され閲覧できると聞か。

**答(市長)**……………  
住民票は備え付けていない、目的外使用はできないので自由に閲覧はできない。

**問**……………  
中山間の「集落機能加算事業」の実施や多面的機能も含めて事務は、小さな拠点が行って

**答(市長)**……………  
地域の個性があると思う。いろいろな形で助け合いをしようとしているので、市としてサポートしていきたい。

**問**……………  
職員には法令順守、守秘義務があるので研修が必要と思うが。

**答(市長)**……………  
重要なこと、団体職員であっても住民の様々な事情に接するから、守秘義務は当然のこと。職員研修は行っている。

## 次世代につなぐ 宮守総合支所

**市長** 宮守町の再生に向けて



築くことができるでしょうか 小さな拠点

ては。  
**答(市長)**……………  
協力して行うのは可能と考える。

**問**……………  
宮守総合支所は合併前と同じ状態で保つてこられたかのように思われるか。

**答(市長)**……………  
合併以前との比較は難しい。100%の維持が合理的か簡単に申し上げられない。

**問**……………  
支所の職員は合併当時27名から現在7名にまで減っている、これでも支所機能は保たれているのか。

**答(市長)**……………  
過去の差配と決断は分からないが、もう一度宮守町をしっかりと見詰めなおす。

**問**……………  
宮守町は取り返しのつかぬほど寂れたまちになってしまった。総合支所の機能回復に向けた検証が必要では。



宮守総合支所を再建して、宮守町を寂れからの復活を

**答(市長)**……………  
総合支所が縮小され、飲食店が厳しい事は承知している。熱い宮守町再生に向けて。

**問**……………  
宮守総合支所の機能再建など、宮守町再生の検討を行うとのこと。思はありますか。

**答(市長)**……………  
状況に応じて適宜判断して行く。

## 遠野ふるさと商社の役割発揮をどう考える

**市長** 今後議論が必要だが、地域商社として大きな役割を担う組織である

**問**……………  
観光推進基本構想の中で、観光協会とふるさと商社の機能分担をどう考える

**答(市長)**……………  
まずスタッフや関係者が懸命に頑張っているという事を皆さんに伝えたい。今後議論が必要となるが、不採算部分をどうするか、合理化を続けてゼロにするか、再チャレンジするかであるが、新たなプランを皆で考えて再チャレンジをすべきだと思う。それは今まで支えてくれた先人、働いてくれた人達への感謝の思いでもある。



地域商社とは、地域の資源を磨き上げて地域内外に販売する組織のことです。

**答(市長)**……………  
遠野観光の中心は観光協会である。現在の業務を大事にしていきたい。ふるさと商社は遠野の観光プランを活用しこれを販売する商社業務を担って欲しい。

**問**……………  
観光振興を担うDMO(観光地域づくり法人)をつくるために、今、協会、商社と多くのプレーヤーで協議を重ねている。





菊池 美也 議員

一問一答方式



**問**……………  
「先導的共生社会ホ  
スタウン」として、  
教育行政が果たすべき  
役割は。

**答 (教育長)**……………  
※インクルーシブ教育  
の理念が重要。  
関係機関と連携を図  
りながら、特別な支援  
を必要とする幼児児童  
生徒一人一人の教育的  
ニーズに切れ目なく  
対応する。  
共生社会の実現に向  
け、誰一人取り残さな

**問**……………  
県立花巻清風支援学

い教育のさらなる充実  
を図っていく。  
※インクルーシブ教育とは  
すべての子どもを受け入  
れる教育を指します。  
「障害者の権利に関する条  
約」では、障がいの有無に  
関わらず同じように教育の  
機会が与えられ、個々に合  
わせた「合理的配慮」を受  
けられる教育システムが必  
要だと示されています。

## 共生社会の実現に向けて

### 教育長 環境のバリアフリー、心のバリアフリーに取り組む



誰一人取り残さず、一人一人が輝く教育

**問**……………  
校遠野分教室が担って  
いる教育的・社会的な  
意義は。

**答 (教育長)**……………  
分教室と小中学校の  
交流は、障がいの有無  
に関わらず、豊かな人  
間性を育んでいる。  
卒業後においても、

分教室の児童生徒にと  
っては、様々な人々と  
支え合って生きていく  
力となり、積極的な社  
会参加につながってい  
る。障がいのない子ど  
もにとっても、多様な  
あり方を理解し、障が  
いのある人への支援な  
ど主体的な行動につな  
がっているものと認識  
する。  
お互いを尊重し合う  
大切さを学び、心のバ  
リアフリーの実現に向  
け、大きな意義がある。

## 特別な支援を必要とする 中学生の進路

**教育長** 選択肢が少なく、  
保護者の負担は大きい

**問**……………  
「教育的なニーズ」  
有り無しの判断は、  
**答 (教育長)**……………  
一人でもいれば、対  
応しなければならぬ  
のが教育本来の姿であ  
る。

**問**……………  
生徒と親御さんの声  
を聞く考えは。

**答 (教育長)**……………  
生徒の思いをしっか  
りと受け止め、保護者  
の思いも大切にす  
る。ぜひご意見を伺いた  
い。

**問**……………  
県内でも、生まれ育  
った地域で学べない高  
校生が多い。  
組織と制度の壁はあ  
るが、関係者の力をま  
とめ上げ、特別支援学  
校高等部分教室の設置  
を先導的に求めてはど  
うか。

**答 (教育長)**……………  
いろいろな考え方が  
あり、なかなか難しい。  
次期支援学校整備計  
画の策定に合わせ、県  
教委に要望するなど、  
市長部局と連携しなが  
ら、特別支援教育の充  
実に取り組む。



菊池 忠信 議員

一問一答方式



**市長** 「永遠の日本のふるさと遠野」を  
持続的に活かし、将来につながる  
改革をしなければならぬ

## 令和5年度の農業政策は

**問**……………  
令和5年4月に施行  
される地域農業マス  
タープランの地域計画  
法定化に向けた取り組み  
は。

**答 (市長)**……………  
将来につながる最も  
重要な改革と考えてい  
る。そのために畜産・  
水稲・畑作農家もスピ  
ードを上げて本気で地  
域計画に取り組んでい  
かなければならない。

**問**……………  
畜産経営アクション  
プランの狙いと今後の  
方向性は。

**答 (市長)**……………  
畜産経営の構造改  
革、意識改革をもって、  
将来に必要なことを実  
行に移すための経営実  
態を深掘調査している  
段階だ。同時に、どん  
どん意見を言っていた  
とき、早急に対処すべ  
きことには対応し、時  
間を要することにも積

**問**……………  
本市としての国消  
産取り組みをどう捉え  
る。

**答 (市長)**……………  
いろいろな面で付加  
価値とブランド力をつ  
けることが必要。六次  
産業での物作りから、  
原料の買い取り価格を

極的に向き合ってい  
く。  
**問**……………  
上げていくための取  
組みや、やる気のある  
若い起業家の施設整備  
等に対する応援体制も  
考えている。自給率を  
アップさせるために、  
併せて産業構造も変わ  
っていくと思う。  
今は、その先を見据  
えた準備のスタート地  
点に立っている。



地域農業マスタープラン話し合い

## 「地域で子どもを育てる」 活動のつながりは

**教育長** 学校運営協議会「コミュニティー学校」  
は学校と地域をつなぐ取り組み

**問**……………  
「コミュニティースク  
ール」試行の年度として

**答 (教育長)**……………  
この取り組みの成果は。  
これまで学校に関わ  
りのなかった地域の人  
材や資源が発掘され、  
学校に対する支援につ  
ながっている。

**問**……………  
小さな拠点(地区セ  
ンター)との連携は。

**答 (教育長)**……………  
地区センターは、社  
会教育法に基づく公民  
館業務であり、学校運  
営協議会と地域との関  
りを中心的に担う重要  
なつなぎ役である。

**問**……………  
今後、コミュニテ  
ィー学校を地域全体  
にどのように周知して  
いくのか。

**答 (教育長)**……………  
遠野テレビや広報誌  
をはじめ、地域の会議  
等で幅広く市民に周知  
し、浸透させていく。





昆明美 議員



一問一答方式

問 4月に子ども家庭庁が発足される。その大綱で目指す社会の姿として、子どもや若者の利益を第一に考える子ども真ん中社会の実現と明記されているが、当市の国に対する見解と、県の方針である、所得の制限なしの3歳未満の第2子以降の保育料無償化と在宅育児への給付について、当市の見解と取り組みは。

答(市長) 令和5年度から岩手県の子育て支援策として、3歳未満の第2子以降の保育料の無償化に取り組み市町村に対して、経費の2分の1を補助する事業が実施される。この事業は、少子化が進む中、県と市町村が連携して子育て世帯の経済的負担を軽減し、子どもを生み育てやすい環境の整備を図るものだが、「子育て

するなら遠野」のスピーカーのもと、更なる子育て支援の充実を図るため、本市においても令和5年度から3歳未満の第2子以降の保育料を無償化とするため関係事務を進めている。さらに、在宅育児支援の月額1万円の支給についても準備を進めている。今後も引き続き国や県の動向を把握しながら子育て支援策として、第2子にかかわらず、保育料の無償化に向けて段階的に検討を進めていく。

## 第2次わらすっこプラン 少子化対策及び子育て支援は

市長 ユニバーサル、みんなにやさしい、その方向に向かって取り組む

## 企業団体の育児休暇の進捗状況は

市長 子育ては、共助、お互いの助け合いの社会を職場から



僕たち私たちが遠野を引っ張って行くぞ

問 女性の育児への心労負担の軽減を図るため、気兼ねすることなく育児休暇を取得できる労働環境の整備ができていますか。

答(市長) 子育て支援に取り組んでいる市内企業の実態としては、岩手県の

企業等の認定が224社あり、そのうち遠野市内では8社認定を受けている。本市では「わらすっこ条例応援事業所」の認定をしている。認定を受ける事業者が増加しており、本市では53社が認定を受けると、子育て支援の気運が高まっている。



小松 正真 議員



一問一答方式

## 遠野ふるさと公社・商社の経営は

市長 令和5年4月1日に計画どおり統合する

問 株式会社遠野ふるさと商社の経営状況は。

答(市長) 令和4年度は第3四半期までで営業損益が約3200万円赤字。

答(市長) 令和4年度は第3四半期までで営業損益が約720万円赤字。

問 商社と公社はいつ合併するのか。

答(市長) 遠野ふるさと公社経営改革3ヶ年計画のとおりに、令和5年4月1日に一般社団法人等のふるさと公社の事業お

よび関係資産を、株式会社遠野ふるさと商社へ承継譲渡するという計画にしている。その後公社は解散する予定。

問 3年前の分社化の際に、すでに市からの支出金7,100万円を使い果たし実質倒産状態だった公社。その後商社の売上は維持されているものの、公社の経営も改善されるとし

答(市長) 分社化ということだが、抜本的な解決にはならないと考えている。どういう体制であろうと、しっかりと経営プランの基盤を進めるといことがなければ改善されない。分社化が課題を解決することにはならない。



ふるさと村・水光園の指定管理は商社に

## (株)遠野の経営は

市長 経営陣の変更等を行い経営改善を目指す

問 (株)遠野の経営状況は。

答(市長) 令和3年度の単年度決算額は約1,245万円の赤字。

問 経営改善計画はどのようなになっているのか。

答(市長) 現在(株)遠野に経営改善計画を求めているが、なかなか思うような経営改善計画は出ていない。

問 経営改善計画を作るのは経営者である取締役会の責任。そして、経営者の責任を問うのは株主の仕事。最大の株主として今後の方針は。

答(市長) 経営体制を見直すのが一つの手だと考えている。また、障がいをお持ちの方を雇用することや観光DMOとタッグを組むなど経営を変化させる。





荒川 栄悦 議員



一問一答方式

**問**……………  
デジタルトランスフォーメーション(デジタル技術が起こす変化)の推進による市民サービスの向上の取り組みは。

**答(市長)**……………  
各種証明書の交付について、交付窓口を市民課や、宮守総合支所など、国の制度もあり、一部の窓口としていることから、現時点においては庁舎内を移動し

**問**……………  
マイナンバーカードによるマイナーポータルびったりサービスの内容は。

**答(市長)**……………  
令和5年度予算では、住民票および印鑑証明書がコンビニエンスストアから交付出来るサービスを導入します。さらに、オンライン

**問**……………  
情報格差解消のための対策は。

**答(市長)**……………  
スマートフォン利用



高齢者スマホ教室の様子

講習会やパソコン教室の開催を、準備して計画していく。さらに、格差解消のために、安価な機器の紹介と体験、それとWi-Fiの体験についても考えなければならぬ。そのための体験センターの開設もしていく。デジタルデバイス対策はDXを推進していくうえで大変重要なこと。

## テレワークの推進は

**市長** さらにテレワークの推進を図っていく

**問**……………  
テレワークは育児、介護等通勤が困難な職員の柔軟な働き方として職員一人ひとりのライフステージに合った働き方の選択にもつながり、ワークバランスの観点からも重要だが、活用は。

**答(市長)**……………  
新型コロナウイルスの感染拡大に伴ってテレワークは本場に大事であり、便利であるという事を実感した。令和4年度で20名がテレワークを実施した。



小林 立栄 議員



一問一答方式

## 新年度へ施政方針 地域共創は市民・地域と伴走型で

**市長** 真っ直ぐな対話で可能性広がる

**問**……………  
物価高騰対策として、畜産農家へ支援金の給付や訪問型の支援を。

**答(市長)**……………  
放牧事業等への支援を通して、農家の負担軽減に取り組んでいる。しかし支援は足りない。できる限り対応したい。

**問**……………  
経営開始資金等の所得要件の緩和など、新規就農支援を。

**答(市長)**……………  
所得要件は意欲を鈍らせるので、撤廃を要望したい。またワザビやホップに呼び込めるよう整備したい。

**問**……………  
保育環境の充実として、使用済みおむつの処分を保育所等で。

**答(市長)**……………  
職員の負担軽減、衛生面においても効果的であり、検討する。

**問**……………  
高齢者に買い物をしただけながら、ショッピングリハビリに取り組んでは。

**答(市長)**……………  
とびあに子どもの遊び場を作る。その周囲を高齢者が歩けるようにすれば、高齢者の元氣、見守りにもなる。

**問**……………  
共生社会の実現に向け、改めて当事者の

**答(市長)**……………  
心障りフリー認定制度も活用しながら、ユニバーサルリズムの取り組みを。

**問**……………  
心の障りフリー認定制度も活用しながら、ユニバーサルリズムの取り組みを。

**答(市長)**……………  
同感。また、障りのある方の働く場も作っていかねばならない。

方々と「まち歩き点検」を実施し、バリアフリー推進を。

**答(市長)**……………  
点検・改善を積み重ねなければならぬ。再度、取り組む。

**問**……………  
手話の普及、ろう文化への理解を深める情報発信を。

**答(市長)**……………  
積極的に広めたい。

**問**……………  
心の障りフリー認定制度も活用しながら、ユニバーサルリズムの取り組みを。

**答(市長)**……………  
同感。また、障りのある方の働く場も作っていかねばならない。

**問**……………  
心の障りフリー認定制度も活用しながら、ユニバーサルリズムの取り組みを。

**答(市長)**……………  
同感。また、障りのある方の働く場も作っていかねばならない。

## コミュニティ・スクール 急がず子どもの為の取り組みを

**教育長** 地域の参画を促しコミュニケーションを図り進める



丸つけボランティアの様子「また来てね」と子ども達の声も

**問**……………  
試行の年、成果と課題は。

**答(教育長)**……………  
学校の課題解決に向けた話し合いや取り組みが見られ、学校と地域のつながりを再確認できた。課題は組織の位置づけが明確でなく、組織の役割分担について、共通理解を図ることが必要。連携協働に向けた取り組みを幅広く地域やPTAにも周知し、情報発信する必要が有る。







瀧本 孝一 議員



一問一答方式

**問**……  
本市の生徒学生のSNSへの投稿状況や、

**答(教育長)**……  
社会の秩序を脅かす犯罪行為であり、決して許されないと認識している。

**問**……  
回転寿司店のいたずら動画や、若者の間バイト関与等の報道の感想は。

**答(教育長)**……  
市内の小・中学校において、本年度もSNSへの投稿による誹謗中傷や画像等の個人情報報掲載に係る指導事案が数件報告され、年々増加傾向にある。

**問**……  
学校における※リテラシー教育の必要性・重要性の認識について



※リテラシー  
英語が語源で、もともとは「読み書きの能力」「識字能力」の意味であるが、今は情報リテラシーなど、「情報を活用する能力」の意味合い等で使われていることば

# 学校でSNSネットリテラシー教育の必要性は

**教育長** 正しい知識と確かな判断力や周りの支援が重要

被害の有無の把握については。

**答(教育長)**……  
正しい知識と確かな判断力を、学校・家庭・地域の中と信頼できる大人の支えの中で、しっかりと身に付けて行くことが大変重要である。

**問**……  
地区センター新築に至るまでの課題解決と経緯については。

**答(市長)**……  
平成29年度地域住民

# 鱒沢地区センターの新築と既存施設の活用は

**市長** スクラップ アンド ビルドを進めていく

**問**……  
各地区センターの緊急的改修予算2千万円では足りない場合の対応は。



念願の鱒沢地区センターの完成予想図  
令和6年4月使用開始予定

**答(市長)**……  
合理的にビルド&スクラップ、スクラップ&ビルドを進めていく。

**問**……  
ハコモノ行政を批判して当選した市長の、ハコモノが増えるという見方をしている市民への説明は。

**答(市長)**……  
主体で整備検討委員会を立ち上げ、令和元年8月に用地取得が完了。令和3年度人口減少時代に対応した施設にと、基本計画策定。翌4年度に実施計画と実施設計を行い合意形成を図った。

**問**……  
いききたい。  
地域力低下や、社会全体と行政の縮小社会における公共施設の維持管理のあり方については。

**答(市長)**……  
行政・地域・管理者が意見を出し合いながら健全な運営をしていかなければならない。



佐々木 恵美子 議員



一問一答方式

# 農業人材、人手不足の対応は

**市長** 「特定地域づくり事業協同組合」など国の制度活用を

**問**……  
市長は令和5年の施政方針で、規模拡大を希望する農業者への積極的な支援をすることをしている。規模拡大には農業人材の確保が課題であるが、対応策は。

行う事業協同組合の立ち上げなどの検討をすすめたい。

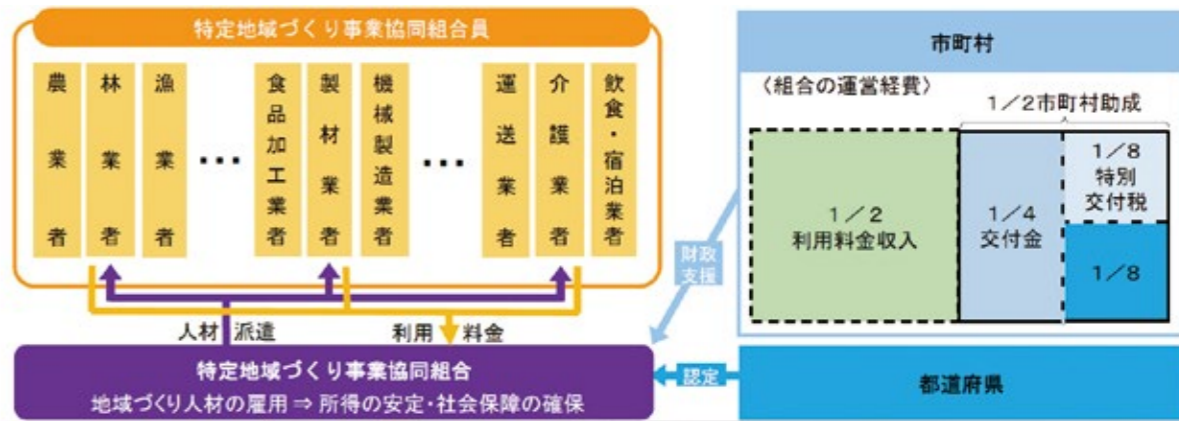
**問**……  
制度の内容は。

**答(市長)**……  
この制度を活用することで、農林業や商工業など異業種で協働組合を立ち上げ、組合の中で人材を通年雇用できる仕組みづくりが可

**答(市長)**……  
農業の人手不足は認識している。例えば、国の制度を活用した、特定地域づくり事業を

能となる。例えば、農業者が農閑期に組合の事業所で働き、農業繁忙期には、農業をする

など。国と市町村からも財政支援が可能となるので力を入れたい。



特定地域づくり事業協同組合制度概要図  
(総務省自治行政局資料より)

その他の質問  
● 直営診療所について

# 障がい者の仕事の創出を

**市長** 市の委託先や指定管理者、民間事業者へ積極的に理解を求めていく

**問**……  
市長は施政方針の中で、障がい者の仕事の創出の充実を述べているが、具体的には。

**答(市長)**……  
ユニバーサルなまちを目指し、障がい者の就労の場づくりにも、積極的に取り組みたい。市の事業委託先や指定管理者、また民間事業者の理解に努め、就労の場の拡大に努めていく。

**問**……  
障がい者が、就労相談できる窓口の充実。

**答(市長)**……  
現在の相談窓口は、福祉の里にあるが、多様な相談や相談しやすいのニーズにこたえるため、従来の福祉の里のほか、市内に複数の相談窓口の設置をした







佐々木 大三郎 議員



一問一答方式

# 少子高齢化と人口減少対策は

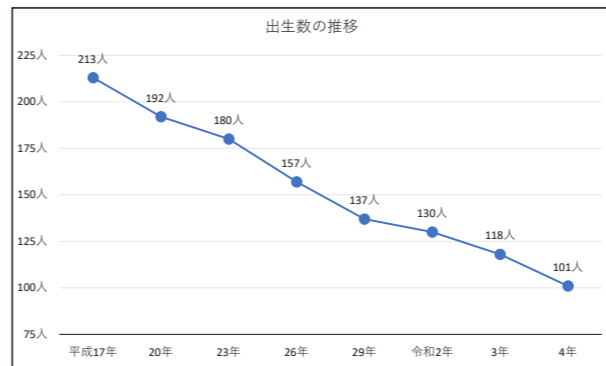
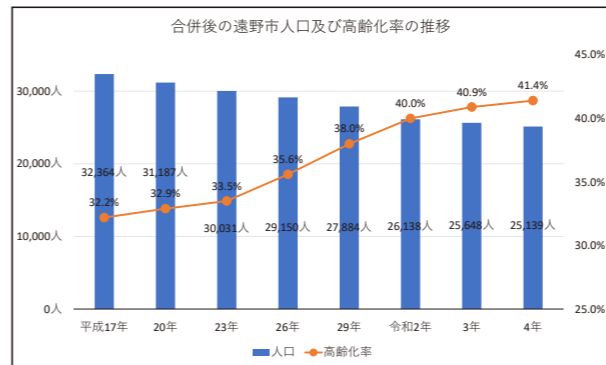
## 市長 既存対策を脱し新しいことに挑戦

**問** 急激な少子高齢化と人口減少の現状認識は。

**答(市長)** 悪化状態が続いている。この構造から脱却し、持続可能な将来像を描くには、既存の価値観にとらわれず、新しい視点で挑戦する。

**問** 解決策は、若者が地元

**答(市長)** 元々定着する環境整備を図るべきである。SMCの関連企業からの新規雇用約500人や、地元企業の雇用増が見込まれるので担当職員を増やし万全な支援策を講じるべき。



**答(市長)** 言葉だけではなく、男女の出会いから、結

**問** 「子育てするなら遠野」に相応しい環境整備を進め、若者の地元定着とU・イターンなどの移住促進を図るべき。

**答(市長)** 当職員の増加も検討し、企業にご満足いただける支援体制を構築する。また、海外からの人材確保にも本格的に取り組む。

**問** 子育て支援住宅の整備計画は。

**答(市長)** 将来に対する有意義な投資と捉えて、空き公営住宅や、空き家の有効活用を進める。

婚・妊娠・出産・子育て・孫育てまで切れ目のない支援策を強化する。

# 観光振興対策は

## 市長 新たな組織(※DMO)を設置する

**問** 観光振興策としてDMOの設置が計画されているが、目的と期待される効果は。

**答(市長)** DMOは、観光施策の司令塔の役割を担い、地域観光のマーケティングとマネジメント機能を持ちながら、取り組みの企画立案、資金調達などを行うことにより、効果的なプ

**問** 運営資金の確保は何かからか。

**答(市長)** 市からの受託・補助事業や物販、旅行商品の販売により健全な収支経営を図る。

※DMO  
Destination Management  
Marketing Organization  
(観光地域づくり法人)

**問** DMOの運営主体と権限、責任の所在は。

**答(市長)** 全て「(株)遠野ふるさと商社」に持たせ、最終責任は経営者(役員)が負う。

ロモーションと観光商品の提供が可能になる。

## 議員全員協議会研修会

研修日  
1月20日(金)

### ◆議会基本条例の原点に立ち戻る

早稲田大学マニフェスト研究所の招聘研究員(青森大学社会学部教授)佐藤淳先生をお招きし、市政調査会および議会改革推進委員会主催の議員全協議会研修会を開催した。研修会は「議会基本条例の原点に立ち戻ろう」と題して、二部構成で行われた。第一部の内容は、議会からの「政策サイクル」。

常任委員会の活動計画の策定や、政策提言



議会力・議員力の向上へ 積極的な対話を行った研修会

を行っている他市議会の取り組み事例について説明を受けた。第二部の内容は「議会基本条例について対話しよう」。

議会基本条例6つの条文について、遠野市議会は条例に定めた内容を実施出来ているか自己評価その後※ワールドカフェ方式で「今、上手く出来ているところ」「これから伸びるところ」など議員同士で対話を行った。

最後に、議会基本条例の原点に立ち戻り、任期中に議会改革として、実践したいことの対話を行った。今回の研修で、議員相互間の討議や常任委員会の調査検討テーマの設定など、更に遠野市議会として議会改革に取り組みことの重要性を再認識した。

### ポイント!

対話とは  
お互いの立場や価値観を確認し、「新しい関係性」を作り出すプロセス



※ワールドカフェ「カフェ」のようなリラックスした雰囲気の中で、少人数に分かれ、世界旅行の様にテーブルを移動して、他のテーブルのメンバーと対話を行い、参加者の意見思いなどを集めることが出来る手法。

## 総務常任委員会行政視察

調査日  
2月7日~9日

### 調査研究箇所

- ・ソフトバンク株式会社
- ・DX EXPO 展
- ・サイボウズ株式会社
- ・エワイニクス・ジャパン株式会社

### 参加委員

- 小松 正真
- 千田 由美子
- 佐々木 大三郎
- 荒川 栄悦



自由な発想を生むファミレス風のオフィス

事を行うことで、社員間のコミュニケーション活性化を図っていた。固定電話もなく、またペーパーレスにより書類を保管するロッカー等も不要のため、社内は雑然としたところが一切なかった。

また、出社せずに遠隔で仕事を行うテレワークが進んでおり、2社とも10~20%程度の出社率で業務は滞りなく進められているとのこと。

遠野市役所でききなペーパーレス・テレワークを行うことは難

しいと感じるが、将来的にICT技術を活用すれば、市民生活の利便性が向上すると感じた。

※デジタルトランスフォーメーション

情報技術により業務や生活を良い方向に変化させること

# 学んで行動する議会へ



調査日 2月8日～9日  
調査テーマ 「居場所づくり」  
調査研究箇所

・岩手県北上市 「ワラタネスクウェア」  
・秋田県藤里町 福祉の拠点「こみっと」

参加委員 佐々木 恵美子

昆 明美

菊池 美也

瀧本 孝一

新田 勝見

◆ワラタネスクウェア

代表の後藤誠子さんは、家族の不登校の体験から、居心地のいい場所をつくりたいと個人で事業開始。自身の体験をメディアなどで積極的に発信し、共感する方々が市外からも訪れている。地域住民も加わり交流場の創出にもなっている。

◆福祉の拠点

最初は、どこにも所属しない障がい者や若者の居心地のいい場所が必要との発想で事業を開始。しかし、自立できないまま過ごさせ



居場所を作る福祉の拠点「こみっと」

てしまう場所になっていく様子から事業を見直し、全世代対応の活躍支援事業へ展開した。弱者でも地方創生の担い手になれる、町民

だれもが生涯現役を目指す町づくりには挑戦していた。遠野市での居場所の必要性と実現について、調査を進めていく。

調査日 2月6日～7日  
調査研究箇所

・福島県相馬市

「アグリ・コア株式会社」  
「山元町役場」

参加委員 佐々木 敦緒

菊池 浩士

菊池 美之

宮田 忠信

宮田 勝美

◆アグリ・コア株式会社

「社水わさびの新たな栽培技術について」  
超促成栽培を実現している相馬市の、(株)アグリ・コアの栽培技術を学ぶため視察した。植物性培養生物培養土を敷き詰め、わさび苗を定植し定期的に水と特殊肥料施肥で、収穫まで2年を要するものが、葉茎部は約2カ月半で収穫可能な超促成栽培を実現していた。

◆宮城県山元町「六次産業の取り組みについて」

3・11からの復興を契機として、農地を集約し、団地化された圃場で、いちご、りんご、シャインマスカット等の生産量を伸ばすとともに、多数の加工品を生み出しその商品を、農水産物直売所「やまもと夢いちごの郷」を中心に販売されていた。



アグリ・コア(株)の超促成栽培

遠野市の特産品である「わさび」の新しい栽培方法と6次産業化への取り組みなど、得るものが多い行政視察であった。このことを遠野市の産業振興に役立つよう機会をとらえ提案していきたい。

市民と議会との懇談会

◆教育民生常任委員会

開催日 3月15日

参加者 たんぽぽ会（遠野地区不登校を考える親の会）、市担当課（福祉課、子育て支援課、学校教育課）

調査テーマ 遠野の居場所づくり

参加委員 佐々木 恵美子

昆 明美

菊池 美也

瀧本 孝一

新田 勝見

たんぽぽ会は、平成9年に不登校・ひきこもりを支援する父母と教師でスタートした。月2回の定例会では、専門家を交えず、会員同士が悩みを吐き出し心のつかえをおろす。笑ったり泣いたりで気持ちが癒される機会となっている。当事者が抱える生きづらさには、家族だけで解決できない課題があり、本人と家族、周りの理解を最も必要とする。

就労を見据えた学習や訓練の場、将来へ希望を感じることができ、当事者と家族が安



心できる場所が望まれるなどの意見がある一方で、世代や関心事も様々で居場所について明確に答えられないなどの意見もある。議会は、当事者と家族の支援に何ができるか。理解と関心を深め、調査と研究を重ねていく。

◆産業建設常任委員会

開催日 2月3日

参加者 畜産・酪農家、水稻・野菜農家、遠野市畜産振興公社、他

調査テーマ 将来に向けた畜産経営基盤の確立と強化について

参加委員 佐々木 敦緒

菊池 浩士

菊池 美之

菊池 忠信

【参加者からの意見】

○16haの牧草地を管理するが、飛び地で刈り取りの調整が難しく効率が悪い。

○現場は農地の集約、団地化が必要であり、農業委員会に期待する。

○地域には後継者（担い手）がいない状況。

○水田活用の直接支払い交付金が見直され、農地を借りるメリットがなくなつた。

○個人経営だが、配合飼料等生産資材が高騰し、10年先まで経営の継続ができるか本当に厳しい状況。

○地域にコントラクター（農作業委託）組織があるとよい。



○シカによる牧草被害が甚大で、収穫量は10年前の半分。

以上のように、懇談会で畜産経営体から出された意見により、畜産経営の大変な状況について改めて確認することが出来た。

遠野市の基幹産業振興のために頂いた意見を、「遠野型労働力確保の可能性」を見出すための今後の産業建設常任委員会活動に活かして行く。

市民の声

このコーナーでは、市民のみなさまから議会に寄せられたご意見等の一部をご紹介します。（文章は、原文のままですが、長い場合は抜粋して掲載しています。）



議会だよりを読み終え、20代の娘の席に置くと手に取り、少しずつ市に関心を持ち始めた我が家の新年です。編集後記の【新しい年は戦いの後の『希望』や『夢』の持てる良い年となるように】を読み、改めて頑張りたいと思いました。（宮守町、50代）

新体制の議員のみなさん、進歩ある遠野にして下さい。期待してます！（上郷町、60代）

問題の答えを探しながら隅々読ませていただきました。色々市民のために日々ご苦労様です。一人暮らしの身です。交通、通院、買い物、老人ながら快適な生活が出来ますように。（附馬牛町、70代）



# わたしのひとこと



## 菊池 夏帆 さん (青笹町)

私は8年前に三重県四日市市に移住し、今年の1月にまた故郷の遠野市に戻ってきました。

「もつと自分の世界を広げたい！」と遠野を離れたましたが、それでも遠野の風景や人々、美味しい食べ物の事はずっと頭の片隅にありました。コロナの影響で年2回の帰省ができなくなり、行きたいのに行けないもどかしい思いをしています。

遠野に帰ってきたのはひどい吹雪の日でした。なんとか無事に飛行機が飛び、遠野の駅に辿り着いた時の光景とその日に食べた寒締めほうれん草の味を私は一生忘れないでしょう。自然と「ただいま」という言葉が口からもれました。

どんな小さなことでもいいから地元に関わっていきたいと思っています。私が感じた事、経験した事が誰かの為になるのなら、とても素敵なことなのでしょう。

このコーナーは、市民の皆様のみちづくりの夢や希望などを掲載しています。掲載を希望される方は、お気軽に当事務局までお申し出ください。

## 遠野市議会だより クイズ

欄に適切な言葉を入れて下さい

- その① 遠野の新たな観光まちづくりを行う観光地域づくり法人をアルファベット3文字で〇〇〇。
- その② 消防団員の処遇改善のため年額報酬を一律〇〇〇〇〇〇円増額。(すべて数字)
- その③ お互いの立場や価値観を確認し、「新しい関係性」を作り出すプロセスを漢字2文字で〇〇。

【応募方法】 クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、ハガキやメールでご応募ください。議会だよりを読んだ感想や、議会へのご意見もお書き添えください。ご意見等は、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介させていただきます。

応募者の中から、抽選で3名の方にすずらん商品券1,000円分をお贈りします。(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。)

【あて先】 〒028-0592 遠野市中央通り9番1号 遠野市議会事務局 宛

【メールでも応募できます!!】 gikai@city.tono.iwate.jp

【しめきり】 令和5年5月12日(金) (当日消印有効)

～議会だより72号クイズの答え～  
その① 130 その② 互近助 その③ 戦

この議会だよりの中に答えがあるので、最初から最後まで読んでみてください

## 編集後記

土の匂いで季節の移ろいを感じる人は多いのではないだろうか。

雪解けとともに、ふつふつと沸き立つような甘酸っぱさが漂う春。命の息吹が若草に乗り移り、さっそうとリズムを奏でる乾いた風の初夏。

知らないところで多くの皆さんが苦勞し、悩みを抱えています。議会は一つでも二つでも解決に向かえばと日々奔走しています。そしてどうすれば前に進んでいけるのか、皆さんにとって一番良い方向は何か、それぞれが考え、議論を重ねています。

令和5年度の予算が成立し多くの事業が動き出しました。担当職員の間と意見を交わした最善策が、遠野の歴史をつくっていくのかと思うたび、どことなく心は浮き立ちます。何か新しいことが始まりそうなら、そんな予感の初夏です。

(美之)

広聴広報部 常任委員	
委員長	小林 立
副委員長	千田 由美子
委員	菊池 美之
委員	菊池 忠信
委員	宮田 明美
委員	宮田 勝美

議会への提言をお待ちしております!